飯田報たつおか

発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報部
印刷所
信州印刷株式会社
松本市巾上電②5686

一割の節減へ

ピンチの公民館予算

▽…飯田市の当初予算に計上されていた、地方交付税が約一億五千万円減額さ…△
▽…れたことと人件費の上昇などにより、今年度の竜丘公民館費四十八万二千…△
▽…円の内、三万三千円を節減しなくてはならなくなった。このことは、民族…△
▽…資料の収集等活発な公民館活動に水をさされた感じで、今後の公民館活動…△
▽…の予算面に相当な無理が生じることが予想される。……△

飯田市では、当初、総額三十六億二千三百万円の予算を計上し、その内、九億八六六〇万円を国からの地方交付税の収入に計画していた。

しかし九月に決定してきた地方交付税額は、当初の交付税の内に含まれていなかった、土地開発基金、給与改定の分等も含めて九億二三〇〇万円となり差引一億五〇〇〇万円の収入減となるという。又人事院勧告にもとずき、人件費の上昇分の財源も必要となってきた。ドルショックの影響で市税収入も当初見こみより減収が予想されることなどにより大巾な収入減になろうと財政課ではいっているこのため財政課では、各部、課に対して、消費的経費（消耗品費・燃料費・印刷費・負担金・旅費・使用料等）の一割に当る一〇〇〇万円の節減を計画し、その計画書をだすことになった。

この計画にしたがって竜丘公民館へも十月十四日付で社会教育課より十%の節減計画書の提出の指示がなされた。

これによれば節減の対象として公民館費の内で物件費の中では、賃金・族費・需用費・役務費・使用料及賃借料・備品購入費・補助経費等の中では、報償費・負担金補助交付金が上げられている。

このため竜丘公民館でも表のような、節減計画を立て、社会教育課へ提出した。

社会の急激な変化にともない、公民館活動の充実がより必要な時その裏付である予算が全額使用した所で昭和三十七年度の公民館予算四十八万七千円にもとどかない現状の中で、さらに一割を節減されたのではなきっつらに蜂で今後の公民館活動はまさにピンチである。市の理事者の公民館活動に対する考え方のあらわれとうけとめてもよいのではなかろうか。

又税財政課の話によれば、来年度はドルショック等の影響で経済状態は悪く、市税の減収、地方交付税のさらに減少等が予想され、市の財政はきびしさが予想されるという。この影響が少ない公民館予算にひびくことのないよう、社会教育の充実のために、むしろ一層の予算的裏付を切望したい。

公民館費の執行状況と節減計画

（単位円）

節	当初	10.27 現在 執行済額	節減計画	残高
報酬	152,000	38,500	+24,400	139,500
賃金	21,000	10,000		11,000
報償金	68,000	17,600		50,350
旅費	29,000	16,460		12,540
消耗品	51,000	34,686		16,314
燃料費	12,000	4,375	−2,000	5,625
食糧費	9,000	7,985		1,015
印刷製本	64,000	63,932		68
修善費	11,000	0		11,000
通信運搬	4,000	1,000	−3,000	0
使用及賃借	15,000	6,330	−8,000	670
備品購入	28,000	18,500	−2,000	7,500
負補交	18,000	0	−18,000	0
計	482,000	219,418	+24,400 −33,000	255,582

青年の主張

民主政治について

現代青年は、時の流れの中で、過去において青年時代を経験した人々よりも、情報化の進んだ今日あらゆる分野において知識を深く持つことが出来る。この広い視野の中で私達若者が強く主張したいと思う事はやはり、その人の考え方、生き方によって多少、比重に変化が見られるだろう。冒険好きの若者は、もっと感動し自分の力をためせ、と唱える事だろうし、自由な時間を自分のものにしたいと要求する青年も数多く存在する事だろう。直面する問題の数多い中で民主政治という課題はあらゆる階層の人々に問いかける性質のものであるけれど実は、この提起こそ私達青年が、まず一番に考えなければならない問題である。

それは青年には私欲の為に自分をごまかす率がきわめて少なく、公平に判断する力があり、同時にまたそうしなければいけない義務があるからである。

多くの日本人は戦争に敗れた事によって、民主制度に深い愛着心を持ち、自由に対する深くて永続きするよさを見い出した。このような「民主的」な思考の再発見が原因となってか、今日まで多くの有権者は自由民主党を政権の座に置くことをやめない。しかしながら、民主政治というものは社会主義の国でも労働党の国家でも遂行する事が出来るし、開発途上の小さな国でも、りっぱな民主国家として、政治的意味での大国になる事ができる。

ところで、日本の急激な経済発展は、日本の政治力がそれだけ進んでいるように考えている人が、少なからず存在するようであるが（もちろん資本主義国家である日本では完全に政治と経済を分離する事はきわめて困難な事である。民主政治の原点はやはり、国民全体の利益を最優先に考えなければならないものであるから、今日経済優先の日本は、進むべき道が、まちがっている様に思われる。この主権在民の基本的な考えを学習し、それに一歩でも近ずけるのが青年の役割である。すでに「最大多数の最大幸福」の理論より、これからは「すべての人の幸福」を私達、全青年が主張していくと共に、私達自身で青年の役割を有限から無限にしていくよう努力すべきではないか。

（注釈）

私はビジネス（Business）を決して不道徳とは思っていないむしろ今の世の中で尊敬すべきものであると考えています。

（桐林 下平信好）

竜丘史学会創立される

会員すでに四十名余

郷土の風土・歴史に関心をもつ者が集り、資料の蒐集をしたり、話し合うことを目的として、去る十一月二十二日文化祭の中で、竜丘史学会が創立された。

先に刊行された竜丘村誌の編さん委員の人達が中心となり、結成されたもので、当日は約三十五名が集り今後の運営や事業について話し合いがされた。

県の博物館の誘置の運動が進められている中で、塚原古墳の研究や、お日待祭、甘酒祭、初午祭などでの現地交歓、公民館で行っている民族資料の収集と合わせての無形の民俗資料の話し合い、民俗学者の講演会などまだ具体化はされていないが、会員の方からの抱負は限りなく語られる程。

会長に木下右治氏、副会長北沢小太郎氏、幹事中田美稔氏、他に各部落に分会を置いて二〜三名の委員が選出され、創立以来すでに会員数は四十名を越え、予想以上すでに喬木・松川・市田などでも学習会が出来ようと言う。

社会教育予算の大巾増額を

第九回公民館大会開かる

第九回飯田市公民館大会がこの十二月五日に飯田市役所で行なわれた。

社会が激しくゆれ動く中で、市民の自主的な社会教育活動を盛んにするために公民館はどのような役割を果たしたらよいかを話し合った。大会は、社会教育の行財政について、公民館の学習文化活動について、公民館の体育レク活動について、公民館の広報活動についての四つの分科会にわかれそれぞれ熱心に話し合われた。

その話し合いの中から、大綱次のような大会宣言と、四項目の大会決議が、全会一致で決議され、市に要望することになった。

「大会宣言」

最近におけるいちじるしい社会の変ぼうは、社会教育にも大きな影響をおよぼし、社会教育関係団体の活動に新しい問題をなげかけています。とくに今年は、社会教育審議会、中央教育審議会の答申があいつで出され、七〇年代の教育のあり方が各方面から論議されています。このような時にあたって従来のすぐれた伝統をふみしめながら公民館を、いっそう拡充整備することによって、八万市民の生涯教育センターとして行ことがさらにもとめられています。

今日、第九回飯田市公民館大会に参加した私たちは、ここで討議されたことを、あすからの実践にふかめていく決意をたかめあうとともに行政面においても積極的な措置が講じられるよう関係当局につよく要望します。

「大会決議」

一 社会教育予算の大幅増額をはかり、公民館館区費等の税外負担を軽減すること。
一 社会教育関係職員の専門職としての身分の確立をはかること。
一 公民館長ならびに、役職員の報酬を増額すること。
一 公民館の独立施設を確保し、教材備品の完備をはかること。

又この大会で昭和四十六年度社会教育功労者二五名が表彰され、竜丘では前館長の木下富士氏と元広報部長の久保田巧氏の二名が感謝状を受賞した。

学校下道路

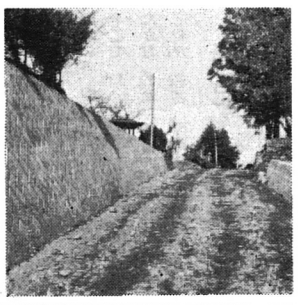
完成

市道一号線の内、小学校下の道路がこのほど完成した。

この工事は市道幹線改良工事として行なわれ十月初旬より、竜丘土建により工事費、三三一万五千円で行なわれた。工事の総延長一六五米で巾員五米、目下玉砂利がしかれているがこれも来年度中には補装されるとのこと。

この工事により、見とうしのわるかった時又、上川路方面の児童の上ってくる小学校の通学路との交さ点も見とうしがきくようになった。

これで、小学校をとりまく道路も一おう改良工事が出来上った。



記念館民俗資料室に

市費十八万一千円で改修

公民館文化部が、中心となって進めて来た民俗資料の収集と、埋れる民俗資料の調査は大きな成果を上げてひとまず終了しました。

収集された資料数約千点、江戸時代から今日までの生活、文化の発展を示す貴重なものばかりです市の社会教育課でも高く評価しています。収集された資料の保管、展示室には記念館（小学校のプール横）が当てられていましたが、老朽化がひどく、貴重な資料の展示室には適しませんでした。そこで文化部員が手弁当で一日掛りで修理しました。しかし、とても追いつきません。そこで市の社会教育課に陳情したところ、公民館修善費百五十万円の中から約十五万円支出、その銭で、屋根、窓の修理、建物の修理、それに民俗資料の陳列棚、机が設備されました。

今後は、収集された民俗資料を年代別、用途別に分類し、説明書をつけて陳列する予定です。収集された民俗資料が整然と陳列され地区民に公開される日も間近いでしょう。

尚、長年廃屋同様、荒れ放題になっていた。記念館の修理費を市から出させたことは、公民館文化部が中心になり、地区民が一丸となって取り取んだ成果であり、公民館活動の大きな収穫として心に留め、今後の活動に生かしたいものです。

随想リレー（91回）

バレー生活今昔

時又 橋爪 常子

女学校の一年の時よりバレーボールを始めて三十年近い歳月が流れ、四十才を越えた今又、バレーボールを楽しんでいる此頃でございます。現在のようにバレーも盛んになり、六人制となり私のやった頃のバレーは九人制でルールも違いました。又、外国との交流もなく、最高試合の東西対抗に出場する事が、当時の夢でした。

入学した頃より三年の終戦迄は鍬や鎌を持って勤労奉仕に、開墾に戻り勉強・運動と本格的にやり始められました。

バレー部も地区予選、県大会と優勝し、チーム一同自信を持って頑張りました。当時は外で練習試合がほとんどでしたので陽にやけて真黒、運動靴など不足がちで練習は素足でやりました。

四年の時第一回、五年の時第二回の国体出場権を得、夏休みも返上し毎日真暗くなるまで練習し、試合には、大きなリックに食糧をいっぱい背負って出かけたものです。天皇、皇后両陛下をお迎えしての開会式、身の引きしまる入場行進のすばらしい感激は、今も昔も変らないものと思います。金沢駅で県出身の大学生の思いがけない盛大な出迎えを受け、声をからしての応援、準々決勝で負けた時一緒に泣きくやしがって下さった事、学資をさいて大鍋に牛肉を煮て、健闘を讃え慰めて下さった友情は、二十年余り過ぎた今も忘れ去ることなく、深く胸にきざまれています。

卒業後、県外に出る人の少ない頃で、先生方に反対されましたが無理を許してもらい、大阪と津にある会社に就職し、バレーを通して八年ばかり勤めました。

仕事を終えて真暗になるまで練習、ユニホームが汗でびっしょり食事を終えると夏でも冷たく感じる程で、風邪や腹痛は自身の不注意であり病気でない、負傷などは勿論、練習を休む理由になりませんでした。風呂に入り洗濯を済ませると十二時過ぎ、寮の方々に迷惑にならないように暗い中を手さぐりで床にもぐり込んだりしたこともありました。食糧事情もまだまだ悪く、楽しいこと、つらく泣いた事がよくありました。

ここ五・六年の間に家庭婦人の健康増進のため、各地でママさんバレーの熱が高まり、昨年当りより全国大会も開催されるようになったようです。大阪地区での最高年令者は五十五才とか、友達の便りにありました。バレーは、場所も取らず、誰でも出来る運動の一つだと思います。一年に一回では体も痛くなったり、病気になったりで、悪い影響の出る事もあり短かい時間で良いので、毎日やれるようにしたいと思います。

竜丘も飯田市の試合で、第一回と今年の二回優勝しました。試合に勝つ条件はむずかしく、よいアタッカーや、総べてが揃わなければなりませんが、第一に、チームワーク。今年の竜丘チームはこの点でも大会第一だったとか、練習量からして到底勝てる条件は持ってなかった様に思いましたが、やはり、やる気の者が集まり、試合に打込んでやった結果と思われます。

母親バレーは優勝することも大切ですが、それよりまして、一人でも多くの方々に参加して頂くことに意義があると思います。

健康な体力作りに、チームワーク作りに、若いお母さん方から、地域のバレーボールを盛り上げて行って頂き度いと存じます。

ヤブ蚊

・今年も早や師走、この月はなにか忙しく、金銭的にも窮屈な月だ。

・そうでなくても火の車の公民館の台所、この暮にきて公民館予算の一割節減ときた、火の車は大火にもなりかねない。

・風というものは弱いものへの当り方が強いとか。公民館予算もその例にもれず、地財法の準用により、以前の半分となった予算が、今年でやっと数字的には三十七年なみになろうと思われたものがこ一割節減で又さがってしまう。

・ここで公民館予算を今一度考えなおして見よう。

市の公民館予算がきまってくるのが四月、竜丘の公民館の役員が決り事業計画が立てられるのが五六月、決められた予算の中で行なう事業で市の社会教育の一般方針でいう自主的な活動が出来るだろうか。一つの事業をやるためにはまず事業計画を立てその裏付として予算が立てられるのが本らいと思う。それが逆の場合、今年のように公民館活動が活発になると予算不足を生じる。

・公民館の大きな行事である運動会と文化祭はみな地区民、あるいは農協からの援助にたよっている運動会では賞品代として、一戸一〇〇円づつで竜丘中で約十万円の収入となり、運動会費用として賞品代・準備品を含めて十万円で大よそまかなえるという。

文化祭においても農協からの助成金二万円也は大きな収入源で文化祭費用の大半をまかなっている状態だ。

・このように大きな行事をするためには市からの公民館予算にたよることは出来ず、地区からの税外負担にあおがなくては何も出来ない状態だ。

・又館報発行等のための印刷費も十月二十七日現在で六十八円の残金しかなく地区内の皆様の御協力をあおがなくてはならない状態だ

・来年度は市税等の収入減でさらに予算面できびしさが予想されるという。公民館活動をまもり発展させるためにも弱い所に風を当るのでなく予算の増額を切望したい

文化祭

圧巻・民俗資料展

史学会・田楽座公演などに特色

公民館の最大の行事の竜丘文化祭は十一月二十二日（月）二十三日（祝日）の二日間、小学校を会場に行なわれた。今年の特長は文化部が年間を通して収集した民俗資料が会場せましと展示されたり竜丘史学会の創立総会が行なわれるなどが特長的であった。又青年会主催の田楽座公演が取り組まれたり、睦会がなんでも市を開催するなど新しい試みが行なわれ、今年度各分野で活躍された方々の表賞状の展示が二教室を使い発表された。

まず今年の文化祭の柱の一つ民俗資料展は主会場の記念館に竜丘の民俗資料が会場一パイに展示され、観らん者の受付帳には二日間で二百三十余名、記入しない人を含めると三百名程が展示場に足を向けた。

内容としては展示物の説明不足が少し残念であった。文化部の今後の活動に期待をしたい。

★少なかった書・画・写真店

書は皆無、画は一点、写真は二名の展示に終ったが出品されたものはさすがであった。ことに写真の開善寺のカラーと鈴岡公園は、地区内の美を生かすなど非常に良かった。次回から呼びかけにテーマなど決めたり愛好者の多くの参加を望みたい。

☆大成功ソフトボール大会

二十三日午前八時霧の中で、参加九チームで行なわれた。職場、公民館、同好会、商栄会、部落など多様なチーム編成で、和やかな中に真剣なプレーが行なわれ、日頃スポーツから遠のいている人々に良い運動になった。結局強いはすの同好会を逆転した時又商栄会チームが優勝し、誰もが手軽に親しめるスポーツとしてのソフトの役割を再認識させられた。

☆素晴しかった！『田楽座』

信州に伝わる郷土芸能を中心に人々の故郷の心を呼びかけた田楽座は、五年前より内容も充実し、実に素晴しかった。第一部の〝かべぬり甚句〟〝とりさし舞〟など腹の底から笑えた。第二部の演劇野麦の峠も本格的で見ごたえがあり、約二時間半の時間を忘れるほどであった。ただ残念だったのは前売券を買っていながら見にこなかった方の多かったことです。今回の公演で桐林の原　義一さんが田楽座へワラミノを作ってプレゼントするなどうれしい話題も生まれた。忘れ去られようとしている郷土芸能の素晴しさ、民衆の力、智慧を改めて考えさせられた。

☆抜群のアイディア〝睦会〟なんでも市

家にある不用品を持ちよりバザーを、売上額の半分を会運営費に、家庭で使わない商品を自分で値をつけてのなんでも市も盛況。今年の教訓を生かして今後の活躍に期待します。

◎ご苦労さんでした。〝婦人会〟

恒例の喫茶も、物価値上りで開催があやぶまれたが、婦人会の方々の努力で今年も行なわれ、文化祭に花をそえた。

今年の展示は、生花、農協婦展、愛石展、青年会活動展、小学校作品展、商工、編物展など例年以上のまじめな展示態度が見る人の共感を呼んだ。一方まだ沢山あるサークル活動が文化祭に集中されてこない点が残念であり、もう一つの盛り上りを欠く原因の一つではないでしょうか。二十三日夜、公民館関係者、各団体、展示責任者が図書館で反省会を行い。今後の公民館活動の新たな前進を誓い合い二日間にわたる文化祭は成功のうちに終了した。

（文化部長談）「このたびの文化祭の中の民俗資料展は貴重な品物をご寄附いただき感謝いたしております。今後寄附台帳などで整理し貴重な資料として保存して行きたいと思っています」

「手小荷物は扱いません」

住民無視の飯田線

八月二日。飯田線の合理化が発表されて早や四か月。その間『国鉄提案の全面徹回を求め、十二月一日実施計画を白紙に戻す。』の目標のもとに、反対運動がなされてきました。

そして、十一月二十二日。管理局より、「桜町駅の手小荷物の発送を続ける」を始めとした六項目の修正案が示されました。これに対して飯伊の飯田線合理化対策郡市会議では、二十四日会議を開き新たに要望する事項を決定。二十六日、県に斡施を陳情した。

この為、県と静岡鉄道管理局との話し合いが、二十八日、三十日の両日に行なわれ、〝一般貨物は時又、伊那八幡等で、手小荷物は興、門島等で、暫定的に取扱う〟という結論が出されました。

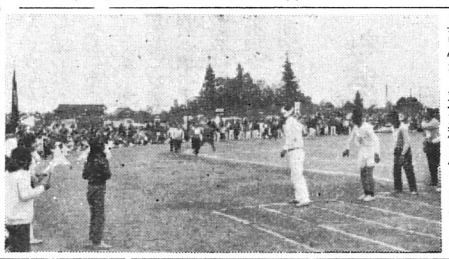
結局、駄科、時又の両駅では、手小荷物の到着、発送は扱わない事になった訳です。しかし、小荷物については、丸通が取りつぎをしており、取扱駅への運搬をするとの事、又、到着荷物の配達駅は飯田駅であって、天竜峡、伊那八幡に到着分は、自分で取りにゆかなくてはなりません。いずれにしても今までより遅れる事は確かかと思われます。一方、貨物は、肥料、飼料の到着するもののみ、十二月二十日まで取扱う事になりました。

この結果に対して、「貨物より手小荷物が残ってくれた方が良かった」という利用者の声が多く聞かれる。

師走を迎えた一日より実施されているが、影響の現れるのはこれからであろう。駄科、時又のふたつの駅を持つ竜丘にも……。「困る困る。」と言いながらも、積極的に反対運動に参加できなかったのが現実かと思われる。

今回の合理化によって、飯田線の重大さを、あらためて知らされたと言っても過言ではなかろう。

盛大だった運動会



十一月三日秋晴の文化の日、昨年より多い参加者の中で市民運動会が行なわれました。年に一回竜丘に住む人達が秋の忙しい一日ではあるが家族そろって参加し、一日を楽しく過ごす事に意義があると思います。そういう点昨年の問題点種目等について検討され行なわれましたが、今年の運動会を振り返った時種目について、分館対抗種目も気軽に参加出来るボーリング、玉入れ、ゆっくり早く、早くのびろ等多く良い点だと思います。

反面三〇〇オリレー、年次リレー等の早さを競う種内は人数回数等、来年度は検討される様反省が出されています。

分館の見る場所についても毎年決った場所になっているが見やすい所遠くて見にくい場所等もあり一年ごとに変えてほしいという声もありました。

各分館での選手の選出には大変苦労されて来ましたが、市民運動会をより一層楽しく、多数参加のものにして行かなければなりません。青年会の仮装行列もその一つの力になっています。今年の反省を充分検討し、来年の市民運動会を今年以上のものにして行きたいものです。

事故禍の竜丘

安全運転を

最近の交通事故による死亡者の数は増加の一途をたどり、飯田警察署管内ではすでに二十四人の交通事故死亡者になっております。長野県下では年内に三百人を越す交通事故死亡者が出るのではないかと予測されております。そこで長野県警察では、このようなかなしい交通死亡事故を防止するために、十一月一日から〝交通死亡事故防止緊急処置〟といたしまして交通事故の発生しやすい時間帯をねらって、交通取締りを強化して運転者及び歩行者に対して正しい交通安全ルールが守られるように毎日指導・警告及び検挙をするようにしております。

また十二月一日からは〝新交通法規〟によりまして交通事故防止につながるような方法で歩行者は正しく歩き、運転者は安全な運転をしていただきたいと思います。そこで今回の道路交通法の改正の目的と要点について申しますと、

1、歩行者の保護の強化
2、交通事故防止
3、都市交通の緩和
4、交通安全教育の徹底

以上四点が改正の重点であり、特に1の歩行者の保護の強化と、3の都市交通の緩和が大切になっているところです。

以前十月二十日に竜丘小学校において地区の交通法規講習会が行われたとき、七三〇人の運転者の皆さんが参加しているので改正交通法規の重要点がどこであるか理解したことと思います。ところで、ここ一か月の間に竜丘地区では数件の交通事故が発生しており交通事故多発現象となっています。そこで今後は竜丘地区の住民は交通事故にあわないと交通事故は起さないこと。二つを常にこころがけて、竜丘地区住民一人一人が交通事故の防止に関心をもって生活を続けて、昭和四十六年を安全に無事に送って、昭和四十七年の新しい年を皆で平和に迎えましょう。

（太田　丈夫）

駐在日記

あの人この人

◎伸びよ健やかに

氏名	部落	父名
下平　洋	駄科	正之
吉川　由美	駄科	郁子
木下　陽子	駄科	敦詞
中島佳重子	時又	俊明
熊谷　恵美	駄科	邦文
下平久美子	桐林	和雄
伊原　千保	時又	隆司
林　和美	桐林	俊彦
矢沢　永敏	駄科	勝幸
小林寿美子	長野原	寿保
青木　征子	桐林	聰
藤本　千香	桐林	勝
下平　泰正	駄科	嗣
熊谷　有紀	駄科	一男
金子　里美	上川路	利雄
倉沢　雅好	桐林	好一
森山　由香	桐林	和幸
今村　洋美	駄科	征洋

◎永遠に幸あれ

今村　征洋	駄科	
平松千加子	阿南町より	
一ノ瀬　清	駄科	
多田井きよ	上久堅より	
関島　文次	桐林	
村松富喜子	下条村より	
橋本　時男	時又	
小野テルエ	青森県より	
前沢　敬司	時又	
下平　文子	時又より	
斉藤　義登	時又	
斉藤　勝子	喬木村より	
久保田耕司	飯田へ	
伊藤みゆき	駄科	
小坂　秀明	鎌ノ倉へ	
沖田ことみ	時又	
代田コウ平	駄科	
原　富貴子	飯田より	
塚平　紀男	上川路	
原　キミ子	埼玉県より	

●御冥福を祈る

氏名	部落	性別	年令
下平　綾子	駄科	女	二四才
中島　晴男	桐林	男	七四
池上　治子	長野原	女	六五
岡島　武一	桐林	男	七〇
岡村　阿さ	桐林	女	九二
塚平　銀次	上川路	男	四九
八和　勇	長野原	男	六五
今村　悌二	時又	男	三三
久保田とも子	駄科	女	五四

消防団人事

▽分団長　前島隆　△副分団長関島東洋雄　△庶務部長林正博　▽消防部長橋爪寿　▽警護部長宮崎和幸　▽責任班長桐林下平賢治　駄科下平正之、上川路塩沢勝吉時又今村善一、長野原中島喜専、▽機関班長桐林中島信義、下平和雄時又松沢敏彦、駄科久保田巧、矢沢勝幸、上川路金子利雄、長野原玉置照雄▽ラッパ班長塚平三郎▽警護班長杉本勝吉、堤義忠

本年も年末が近づき消防団の夜警の時期となってきたが本年度は分団本部のみで行なって各責任班では、行なわない。その理由について分団長は、「有線等報導機関の発達した現在、今迄行なっていた各詰所にはその設備がなく、災害発生の時などはかえって不利になり現在では今迄のような夜警は価値が薄くなってきた」というともあれこの十二月十五日の班長会で結論が出されたが今年の年末はドルショックなどでふところはきびしく犯罪がおこる可能性も多い。災害を未然に防いで来たるべく昭和四十七年にバトンをわたしたいものだ。

講堂へ水銀灯

竜丘小学校の講堂へ七百ワットの水銀灯が一灯取り付けられた。今までは蛍光灯が三灯余りで暗く公民館、農協、青年会等のバレーボール、踊りの練習、小学生の剣道の練習に使用しており、以前より何とかしたいと云われていたが今回の母親バレーボールの練習を期に公民館、青少年保護育成会より市へ要請した所、工事費三万一千五百円で市の半額負担と工事を請負った会社の地元出身者の方の御協力で11月11日に取り付けられた。夜間設備としてはまだ〜〜不十分で、今回取り付けられた物と同様な物が後二灯も付けられれば望ましい設備となるが、今までよりすっと明るくなりスポーツもやり易くなったので、大いに利用したい。

編集後記

今年もはや師走、今年はどこも不景気、公民館予算もあおりで削減され、お寒いかぎりだ。新聞発行の費用の御協力ありがとうございました。暖い春の早からんことを祈りつつ。

鉛筆かついで

新聞雑誌へ投稿して10年

小冊子を発行した

長野原　木下久子さん

今回は、自分の感じたことを約十年間新聞等に投稿していたものを、このたび一冊の本にまとめた長野原の木下久子さんを訪問しました。

「パートの時間を気にしながら、そゝくさと洗うか、ピカピカにみがいてフキンで露を拭って収めておくか、その洗い方は知らないけれどともかくこの際限のない家事と育児にうっ屈した毎日の中に埋れたくなかった。その思いにかられて九年間夢中で書いて来た」

こんど新聞などに投稿した文を『台所のすみで』という小冊子をまとめた木下さんは、その序の中で書く事の動機をこう語っておられる。

結婚まもない昭和三十五年頃、社会とのつながりもなく孤独な主婦の立場で、新聞は社会に通ずる唯一の窓として「暮しの手帳」へ投稿したのが最初だったそうで、その時にもらった謝礼が忘れられなかったという。又、朝日新聞にのった時はうれしかったと言われ、その反響として全国各地から便りがあったとか。

中でも信濃毎日新聞に投稿した「捨てられたおむすび」では「自分を見失なわない心、物を大切にすることを心の確かさだけはしっかりと持たせてほしいと思う。おむすびを平気で捨てる子を育ててしまってはいけない」と訴えている。筆者も同感で近頃の使い捨てを奨励するかの世相には疑問を感じる。

このほか主婦の立場で、実生活の中で食品問題には関心を持ち「しめだそう有害食品」「着色食品が多過ぎる」「給食にも着色料」「自然食品が食べたい」など現代の食生活における、見た目だけを第一とし着色料など有害物質をおろかな目で見すごしている事に強い批判を浴びせている。

今度まとめた小冊子、最初は貰ってもらうつもりはなかったが、売り上げ金を「県交通遺児を励ます会」に寄附する事にしているという。先日の竜丘文化祭にも展示品の一角で売っていたので見られた方も多かったかと思われる。目下一〇〇部印刷して五〇部近く売れたそうで、この十二月一日に第一回目を寄附された。

今後は、趣味の一つである短の方をやって行きたいという木下さんは、家庭では十一歳を頭に一男二女の良き母親である。

なお小冊子『台所のすみで』を御希望の方は有線（06-3461）まで。